



ぶぜん

市議会だより

May 2009 No.64

主な 内容

- ◆ 3月定例会議案審議結果・・・ 2P
- ◆ 議案の概要・・・・・・・・・・ 3P
- ◆ 一般質問・・・・・・・・・・ 4P～
- ◆ 常任委員会視察報告・・・・・・ 12P



新緑が見事な天地山公園

平成21年3月定例会 議案審議結果

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果	
議案第1号	豊前市区長、副区長及び組長設置条例の一部を改正する条例の制定について	総 務	全会一致	可決
議案第2号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	全会一致	可決
議案第3号	豊前市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	全会一致	可決
議案第4号	豊前市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	全会一致	可決
議案第5号	豊前市青豊集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	全会一致	可決
議案第6号	豊前市市民会館設置条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	全会一致	可決
議案第7号	指定管理者の指定について(農林水産物集出荷貯蔵施設)	産業建設	全会一致	可決
議案第8号	指定管理者の指定について(林産物処理加工施設・林産物展示直売施設)	産業建設	全会一致	可決
議案第9号	指定管理者の指定について(総合交流促進施設)	産業建設	全会一致	可決
議案第10号	指定管理者の指定について(豊前市道の駅「豊前おこしかけ」)	産業建設	全会一致	可決
議案第11号	指定管理者の指定について(豊前市老人福祉センター)	文教厚生	全会一致	可決
議案第12号	指定管理者の指定について(豊前市介護相談センター)	文教厚生	全会一致	可決
議案第13号	指定管理者の指定について(求菩提キャンプ場)	産業建設	全会一致	可決
議案第14号	指定管理者の指定について(畑冷泉館・冷泉茶屋)	産業建設	全会一致	可決
議案第15号	豊前市道路線の認定について	産業建設	全会一致	可決
議案第16号	辺地総合整備計画の変更について	総 務	全会一致	可決
議案第17号	福岡県自治振興組合の共同処理する事務の変更及び福岡県自治振興組合規約の変更について	総 務	全会一致	可決
議案第18号	平成20年度豊前市一般会計補正予算(第3号)	全委員会	全会一致	可決
議案第19号	平成20年度豊前市営駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	総 務	全会一致	可決
議案第20号	平成20年度豊前市バス事業特別会計補正予算(第1号)	総 務	全会一致	可決
議案第21号	平成20年度豊前市水道事業会計補正予算(第2号)	産業建設	全会一致	可決
議案第22号	平成21年度豊前市一般会計暫定予算	全委員会	全会一致	可決
議案第23号	平成21年度豊前市国民健康保険事業特別会計予算	文教厚生	全会一致	可決
議案第24号	平成21年度豊前市老人保健特別会計予算	文教厚生	全会一致	可決
議案第25号	平成21年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計予算	文教厚生	全会一致	可決
議案第26号	平成21年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	総 務	全会一致	可決
議案第27号	平成21年度豊前市公共用地先行取得事業特別会計予算	総 務	全会一致	可決
議案第28号	平成21年度豊前市営駐車場事業特別会計予算	総 務	全会一致	可決
議案第29号	平成21年度豊前市バス事業特別会計予算	総 務	全会一致	可決
議案第30号	平成21年度豊前市水道事業会計予算	産業建設	全会一致	可決
議案第31号	平成21年度豊前市下水道事業特別会計予算	産業建設	全会一致	可決
議案第32号	平成21年度豊前市東部地区工業用水道事業会計予算	産業建設	全会一致	可決
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見書を求めることについて	—	全会一致	異議なし

議案の概要

平成21年第1回定例会は、3月2日から3月17日までの16日間の会期で開催されました。

本定例会には、条例6件、予算15件、その他の案件11件合わせて32議案が提出されました。提出された議案は、それぞれ所管の常任委員会で慎重に審査され、すべての議案が原案どおり可決されました。また人権擁護委員の推薦に関する諮問案が出されましたが、市長提案のとおり同意しました。

青豊区が新設されました。

豊前市区長、副区長及び組長設置条例の一部改正をし、新たに青豊区を設置しました。

本年4月1日から、区長等が配置されます。

定額給付金の支給が決まりました！

定額給付金は、1人12,000円（18歳以下及び65歳以上は8,000円加算）で、今年2月1日を基準として支給されます。

また、プレミアム商品券の補正予算も可決し、10,000円で、11,000円分の商品券が購入できます。

平成21年度予算が可決しました

(単位 千円)

一般・特別会計	本年度予算	前年度予算	比較増減
一般会計暫定予算	3,692,100	11,345,600	△ 7,653,500
国民健康保険事業特別会計予算	3,861,138	3,542,958	318,180
老人保健特別会計予算	11,544	417,420	△ 405,876
後期高齢者医療事業特別会計予算	422,045	403,326	18,719
住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	4,557	15,909	△ 11,352
公共用地先行取得事業特別会計予算	10,000	10,000	0
市営駐車場事業特別会計予算	7,800	8,600	△ 800
バス事業特別会計予算	40,531	40,796	△ 265

※ 一般会計は、3か月間の暫定予算となっています。

(単位 千円)

企業会計	収益的収入	収益的支出	収入-支出
水道事業会計予算	471,657	553,454	△ 81,887
公共下水道事業会計予算	401,190	498,932	△ 97,742
農業集落排水施設事業会計予算	19,169	41,255	△ 22,086
東部地区工業用水事業会計予算	19,011	18,956	55

※ 水道事業会計、公共下水道事業会計、農業集落排水施設事業会計は、いずれも赤字予算となっており、経営の抜本的改善が求められます。

指定管理を行う公共施設の一覧です

施設名	指定管理者
農林水産物集出荷貯蔵施設	くぼて薬草研究会
林産物処理加工施設 林産物展示直売施設	くぼて工房
総合交流促進施設(ト仙の郷)	くぼて宿泊施設管理運営組合
道の駅「豊前おこしかけ」	(株)ぶぜん街づくり会社
老人福祉センター	汐湯の里運営組合
介護相談センター	福岡県介護保険広域連合
求菩提キャンプ場	豊前市観光文化協会
畑冷泉館・冷泉茶屋	畑活性化協議会

※ 指定期間は、いずれも平成21年度から平成23年度までの3年間です。

人権擁護委員の推薦

市長からの提案に対し、全会一致で異議なしということになりました。

※人権擁護委員の候補者

(敬称略)

豊前市大字松江 沼田耕一
豊前市大字赤熊 古見悦子

平成21年第1回(3月)定例会 一般質問

今回、12人が市の一般事務について質問をしました。

3月9日(月)		3月10日(火)		3月11日(水)	
尾澤議員	広域医療体制 子育て支援 学校教育の充実	尾家議員	広域自治体組織 県営伊良原ダム	福井議員	乳幼児医療費助成 子育て支援と保育所
今本議員	中学校の道德教育 小中学生の携帯電話 中学校の統廃合 教職員の人事異動 ちづか保育園入園条件	渡邊議員	農業振興地域の見直し	磯永議員	乳幼児医療費県外受診 赤熊南土地区画整理事業 嘱託・臨時職員採用要件 宇島駅工レペーター設置
		鎌田議員	在宅介護手当支給規則 市営住宅入居 ヒブワクチン補助 妊婦健診検査項目 宇島駅工レペーター設置		
爪丸議員	景気対策 三毛門駅駐車場会計 指定管理者制度	岡本議員	農業振興・農地荒廃対策 森林環境と生産性向上 人口増対策	山本議員	就労支援 農業振興
古川議員	定住自立圏構想 旧豊前警察署跡地			榎本議員	周防灘湾岸道路早期実現 定住促進対策 一般会計から企業会計 への補助金

尾澤議員の質問

1 広域医療体制の構築

議員 地域医療を守るのも、厳しくなっている。広域的な連携で市民の命を守ることが重要と考えるが、定住自立圏構想は、これからのように進められるのか、お伺いしたい。

市民健康課長 平成19年8月に中津市民病院広域医療圏対策研究協議会が設立され、宇佐市、豊後高田市、豊前市、築上郡を含めた広域医療圏で中津市民病院を中核とした医療体制の新たな構築に向けて、協議を進めている。

定住自立圏構想とは

人口5万人程度以上の中心市が社会、経済生活などにおいて密接な関係を持つ周辺市町村と連携し、定住のための魅力あるまちづくりをする構想のことです。

議員 乳幼児医療の県外受診の立替払いの件が、この協議会の検討課題に入っているのか、お聞きしたい。

市民健康課長 吉富町が4月から先行して行うようだが、豊前市も実施時期は若干遅れるとは思いますが、立替払いをしなくて済むように話を進めている。

議員 市バスを中津市民病院へ乗り入れ、広域的なサービスを提供できるように検討してはいかがか。

総務課長 中津市との関係は密接不可分であり、今後話し合いのテーブルの中で大胆に論議していきたい。



2 子育て支援サービス

議員 子育てサポート事業をシルバー人材センターに委託して行っているが、利用状況についてお尋ねしたい。

福祉課長 この事業は、平成19年度から実施している。利用時間は午前8時から午後8

時まで、費用は1時間当たり880円でその2分の1を市が助成している。19年度は、延べ11人、92時間、20年度は、2月末現在で4人、8時間となっている。

議員 学童保育の未設置の地域、横武・合岩で1か所作るという対応はできないのか。

福祉課長 原則10名以上の児童がいないと豊前市ではやっていない。

議員 学童1人当たりの面積はどうか、お尋ねしたい。

福祉課長 国の基準は、1・6㎡を下回らないようにとなっているが、豊前市では、概ね2㎡から1・8㎡くらいになっている。

3 学校教育の充実

議員 深刻化しているいじめや不登校の問題は地域の問題として、学校だけでなく保護者も連携して解決方法を模索していくことが求められていると思うが、豊前市では、不登校の子どもに対してどのような対策をしているのか。

教育長 学級担任にこだわらず、最も信頼関係ができてくる教職員が担当者となって、その子の状態に応じたきめ細かな対応をとっている。また、

各種相談窓口として教育相談室、学校復帰に向けての学習の場として適応指導教室を実施している。

議員 最近、子どもたちの基礎学習の低下を懸念する声が高まっているが、本市の学力向上対策について、お伺いしたい。

教育長 毎年度当初に、学校ごとに学力向上プランを作っており、これを基に授業改善を行い、確かな学力が身に付くよう取り組んでいる。

今本議員の質問

1 中学校での道徳の指導

議員 教育には「知・徳・体」が大切だと思う。中学校での道徳教育をどのように指導しているか、お尋ねしたい。

教育長 道徳の時間で取り上げる内容は、学習指導要領に示されたものをすべて網羅している。また、市内4中学校の道徳の授業時数は年間35時間以上となっている。

議員 子どもの学力を保障するにはプランが不可欠だが、各学校の週学習指導案は作成されているか。

教育長 これまでも小・中学校に対しては、校長を通じて週指導案を書くこと、そしてそれを校長に提出して点検することをお願いしている。今後もしっかり指導していきたい。

2 小・中学生の携帯電話所持

議員 柳川市や芦屋町は、学校への携帯電話の持込み・使用の禁止という方針を打ち出している。豊前市でもそういう対応をしようか。

教育課長 携帯電話は、中・高校生を中心に急速に普及しているが、これに伴う事件や犯罪が多発している。市内小・中学生の携帯電話の所持率は、小学校9%、中学校36.6%となっている。本年2月の定例教育委員会では携帯電話等の利用に関する指針を定め、携帯電話の学校持込み禁止やフィルタ



リングは解除しないということなどを決定した。今後さらにモデルの指導や啓発活動を積極的に進めていきたい。

3 中学校4校の統廃合

議員 中学校の統廃合問題だが、1校に統合するのではなく、中学校を2校にし、うち1校は小・中一貫教育をしようか。

教育長 平成17年11月に、豊前市立学校通学区区域審議会から将来の生徒数、教育的効果を考慮し、1校に統合という答申を頂いたが、合併問題、耐震問題が浮上したことで、現在棚上げ状態になっている。今本議員の提案を含め、今後、教育委員会で議論を深めていた。たくよう、お願いする。

4 教職員の人事異動

議員 2・3年前、教職員人事が内示の前に漏れていたという話を聞いたが、いかがか。

教育長 教職員の人事異動については、県の方針に基づいて、公平性・公正性を確保し、秘密を厳守しながら、適正に行っている。そのようなことはないかと確信している。

5 ちづか保育園の入園条件

議員 ある親から、ちづか保育園は公務員の子どもが多いという手紙を受け取った。ちづか保育園は定員が60名のようにだが、そのうち市役所職員の子どもは何人いるのか。

福祉課長 入園希望の方には、申請書に勤務証明、源泉徴収票等を添付して提出していただくが、希望が多い場合は、兄弟関係、緊急度、勤務地、家庭状況等を基準に、公平性を期して選考している。千束保育園の入園者は、現在67名で、うち市役所職員の子どもは8名入園している。

爪丸議員の質問

1 豊前市の景気対策の取り組みについて

議員 国の第2次補正予算が衆議院で再可決されたが、本市の定額給付金の支給時期はいつ頃になるのか。

財務課長 3月下旬に申請書を発送、給付金の支払いは4月中旬を目標に努力している。

議員 翌日に支給した他県の

自治体もある。待ち望んでいる市民もいるので、一日も早い支給を願いたい。

また、政府は地方交付税を1兆円増額し、内5000億円は地域雇用創出推進費に充てることを決定した。この関係の本市の取り組みを伺いたい。

財務課長 市長の改選があるので、6月の本予算で必要経費を計上したい。

議員 豊前市への地域活性化・生活対策臨時交付金は約1億3千万円あると聞くが活用方法をお聞きしたい。

財務課長 具体的にはプレミアム商品券発行補助金に1000万円、橋梁耐震調査事業1500万円、防災計画事業400万円、総合文化施設整備事業に約1億円を充てた。

議員 不況で苦しむ市民の視点に立った予算措置かどうか疑問に思う。どのような金の使い方が一番生きるか議論して欲しい。

2 三毛門駅の駐車場会計について

議員 管理を地元区長会にお願いしていると思うが、駐車料収入は委託料の半分しかない。見直すべきではないのか。

財務課長 一割の減額をお願いした。管理は車だけでなく、

周辺の風紀、環境対策にも配慮していただいております、ご理解願いたい。

議員 多くの市民が納得しない予算であることを肝に銘じて欲しい。

3 指定管理者制度の効果について

議員 法改正により、多くの公共施設が指定管理者制度となっているが、「卜仙の郷」、「畑冷泉」、「天狗の湯」について利用状況、又、客からの評価はどのようになっていくのか。

まちづくり課長 畑冷泉は気候に大きく左右されるが、入浴者数は年間五千人前後。涼を求める市内外の人々に愛される九州でも大変珍しい施設である。

天狗の湯は年間9万人前後で中心市街地の温泉として人気がある。両施設とも地域活性化の拠点として期待されている。

農林水産課長 卜仙の郷については年間8万人弱で、宿泊できる施設としてリピーターも多く好評を得ている。

議員 図書館は営利目的の施設ではないが、利用者の増、サービスの向上に繋がっているのか伺いたい。

教育課長 県内91館のうち、

22館が指定管理者制度を採用している。柔軟な貸し出し方法も継続しており、利用冊数は若干増えている。数件の苦情も頂いているが、利用者の視点に立った運営が重要で、多くの意見を聞きながら今後には反映させたい。



市立図書館

古川議員の質問

1 定住自立圏構想について

議員 豊前市は福岡県の県境にあり、中津市との連携がますます必要になる。そこで、定住自立圏構想においては、特に中津市民病院のあり方が重要になってくると思われるが、現在行っていること、また行おうとしていることにつ

いて、お伺いしたい。

市長 現在、先行実施団体として、医療分野において中津市が指定を受けている。中津市を中核に、周辺自治体と協定を結び医療・福祉・教育・産業振興等、各分野から一つ以上規定する必要があるとしている。この構想によって国からの支援が充実することが期待されている。

市民健康課長 医療分野について、中津市民病院に小児救急センターを設置する案がある。中津市を中心とし、豊前市をはじめとする周辺自治体との広域医療圏の協議会の中で、子育てなど安心して暮らせる、県境を超えた医療圏域を目指して協議しているところである。



中津市民病院

議員 三毛門地区の子どもは、吉富中学校に行くが、吉富中学校の生徒は、京築地区の県立高校はもとより、中津市の大分県立高校にも進学できる。この定住自立圏構想で、豊前市すべての生徒が中津市の県立高校にも進学できるようにならないものか、お尋ねしたい。

教育長 教育分野について、吉富中学校と築上東中学校からは中津市の高校にも進学できるようになってきているが、これには定数が決められているようだ。子どもにとっては選択肢が広がりメリットがあると思う。県京築教育長会議等で検討していきたい。

議員 豊前市は県境の市である。住民の利便性を考え、この定住自立圏構想を是非活用していつてもらいたい。

2 旧豊前警察署跡地の考え方について

議員 平成21年3月31日をもって、県の土地であった旧築上中部高・旧築上北高・旧警察署と青豊高校の土地が交換されるが、旧警察署跡地の利用についてはどう考えているのか。

財務課長 2筆で広さが2680㎡。跡地の利用予定がないことから、今後は、市有地

等調査審議会に諮って、処分を進めていきたい。

議員 警察署跡地は、豊前市の大きな財産である。売ることも一つの選択肢だが、どういう利用価値があるのか十分検討していただきたい。

市長 敷地内には九電の鉄塔もある。財務課長の答弁したようなことで、これから検討していきたい。

尾家議員の質問

1 広域自治体組織について

議員 豊前市は近隣自治体と消防、ごみ、し尿、水道など多くの事務を共同で行っている。

しかし、最近の新聞報道によると、その運営にギクシャクした言葉が続いている。組織を構成する首長がお互いに信頼し、意思の疎通を図ることが絶対条件と考えるが、市長の見解を求めたい。

市長 時には言うべき点は遠慮せず言うことも必要であり、私は円満に行っていると思っ

ている。ご指摘の点を肝に銘じ、今後も地域のリーダーとして運営に努めたい。

2 県営伊良原ダムよりの利水について

議員 ダム建設の総事業費が

678億円に増額修正され、それに伴い水道企業団構成団体の負担金も増額された。豊前市は約7600万円の負担増を強いられることになる。

麻生県知事は国に対し、直轄事業への負担増を地方に求めることに反対しているのに、県営ダムの事業費増を市町に求めるのは整合性を欠き、納得できない。

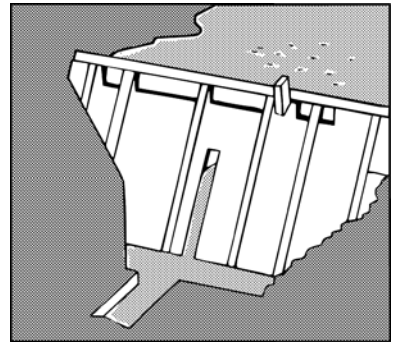
吉富町は支払いを拒否しているが豊前市も予算計上を見送るべきではないのか。

市長 運営協議会でこのことの議論を重ねてきたが賛成多数で了承した。なお、田川地区企業団は既にサインしている。

行政は継続しなければならず負担増も苦しいが止むを得ないと考える。

議員 ダム完成後は責任水量も増え、一日1000トンの余剰水が出る。このことは大きな財政負担となる。(トン単価188円として一日約19万円を捨てることになる)

身の丈にあった責任水量に変更する必要があると思うがどのように考えるのか。



市長 受水費の値下げも凶つたし、指摘の件については関係自治体と協議させていたいただきたい。

また、企業長もダム流域の自治体に譲り、責任を持つていただくことも必要と考えている。

議員 福岡県を巻き込んだ調整でないと解決できない。全力を尽くしていただきたい。

水道企業団には平成17年3月から旧犀川町、旧勝山町が加入した。このことにより責任水量が見直しされ、過去に負担した金額が減額されたと思うがどのようにしているのか伺いたい。

財務課長 平成17年3月まで豊前市が負担した事業費が約18億1千万円。責任水量が40%から34.05%に変更されたことにより、負担金が約2億7千万円減額された。

この金額は債務の継承分として、今後豊前市が負担すべき金額から減額調整されることになる。

議員 この減額分は市の貴重な財産であり、企業団独自で調整、決定させるのではなく、市としても十分把握に努めること。

また、企業団設立時の将来人口の予測など、他の自治体が正確であるのに、豊前市の数値は杜撰であり、このことが不十分な水を引き受ける要因の一つになっていることを指摘しておきたい。

渡邊議員の質問

1 農業振興地域の見直し

議員 東九州自動車道建設に伴う立退きのため、家を建て替えようと、農振除外の申請をしたところ、来年3月までは農振除外申請の受付をしないとされたということのようだが、なぜか。

市長 今の農業振興地域整備計画は昭和63年に策定されたものだが、現在、農業振興地域の整備に関する法律に基づき、農業の健全な発展を目指

し、農用地の効率的な利用を図るため、10年先を見据えて、全体的見直しを平成20年度から21年度にかけて行っているところだ。

農林水産課長 前回の見直し以降、既に20年が経過し、その間農業を取り巻く状況も大きく変化しており、計画の見直しは必要だ。個別の案件については、相談に応じたいと考えている。

議員 来年3月を待たずに、受付をするということか。

農林水産課長 除外をするためには4つの要件があり、いずれの要件にも確実に合致するということであれば、受け付けたいと思う。

議員 来年3月まで一切審議なしというのは、困ることになるので、受け付けて検討だけはすべきではないか。

市長 即答はなかなかできないが、相談を前提に受け付けていきたい。



議員 農業振興地域整備計画の中で、具体的にどこをどの

ようにしようという計画があれば、お聞きしたい。

農林水産課長 農地の利用方針、農用地区域の設定方針、農業の経営規模の拡大、農業の近代化施設の整備計画等、具体的に進めていきたい。

議員 圃場整備の済んだところであれ、なんであれ、高速道路が通って残った土地がいびつな形になったり、利用価値が著しく低下した場合は、どうなるのか。

農林水産課長 東九州道の用地買収は、福岡県の土地開発公社が行うこととなっているので、残地については地権者に十分説明をし、理解を得るよう申し入れをしている。

議員 たとえば、残地を隣の田んぼと同じ高さにするために、100万円、200万円という経費がかかるとすれば、それは誰が負担するのか。

農林水産課長 福岡県の土地開発公社が用地買収をするとのことなので、市としては、どこがその費用を出すということには言えない。開発公社には、地権者と十分協議をしていたいただきたいと考えている。



鎌田議員の質問

1 豊前市在宅介護手当支給条例施行規則について

議員 規則第2条に、「特別児童扶養手当等の支給に関する法律により、類似する手当の支給を受けている者は除く」とあるが、この条件に該当する方も支給対象にできないものか。

福祉課長 この条例は在宅において長期間寝たきりや認知症状態等にある人の介護者に介護の労をねぎらい、経済的な軽減等を図るために支給している手当である。65歳以上の要介護者の方は、国や県等の公的な手当がないため市が援助する形で支給している。特別児童扶養手当・障害児福祉手当・特別障害者手当等すでに公的な手当を受けている方は対象外としている。

議員 現在の条例では重複して手当を支給することはできないが、他の自治体では重複して出しているところもあるので、福祉のまち豊前市ならばもっと手厚い施策をお願いしたい。

2 市営住宅入居について

議員 昨年の6月議会で母子家庭・住宅困窮者が優先的に入居できるようお願いしたが、その後の進捗を教えてください。

建設課長 平成21年度より入居資格のうち所得基準が一般世帯で引き下げられる。この機会に今後、母子家庭・高齢者・障害者・就学前の児童を扶養する世帯等を対象に優遇措置等を検討していきたい。

議員 選考委員会等を設けて検討すると言っていたが未だにされていない。母子の方は2度抽選できるとか、弱者に対して優先入居できるとか抽選方法の改善や特定目的住宅についての検討をお願いしたい。

3 ヒブワクチン接種補助について

議員 乳幼児の髄膜炎予防に効果があるワクチンだが、豊前市でいくらかの補助がないものか。

副市長 予防接種法に基づく国の定期接種に該当していないため、任意接種である。年齢により3回から4回の接種が必要で1回7000円から8000円の全額自己負担がかかる。

今後は国への要望も含め、医師会・各市町村の動向を参考に助成について検討していきたい。

4 妊婦健康診査の検査項目について

議員 母子感染（授乳による）を防ぐためにも、妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査を実施すべきではないか。

市民課長 今は、県と県医師会との会議で保健指導の対象である検査項目を実施している。HTLV-1抗体検査については検査対象となっていない状況である。

議員 感染者には授乳指導を行い感染を抑制している自治体もある。ぜひ抗体検査の実施をお願いしたい。また市民への周知、相談窓口を設置するなどきめ細かい対応をすべきである。

HTLV-1ウイルス

●ウイルスの一種で、成人T細胞性白血病・脊髄炎等の病気の原因となる病原性のウイルス。感染によるキャリアは全国120万人。ほとんどの感染者は無症状で、自身の感染を知らないまま他者に感染させてしまうことがある。感染経緯は、輸血・性交渉・母子感染によるものが考えられる。

5 宇島駅エレベーター設置について

議員 宇島駅のエレベーター設置について市長の考えを伺いたい。

市長 JR九州によると1日の乗降客が5000人以上ある全駅のバリアフリー化を計画しているが、宇島駅は現在、1日3600人の利用者でその対象外となっている。しかし高齢者・障害者等の利便性を考え、現在JR九州と協議中であり、実現化に向けて強く要望していきたい。

岡本議員の質問

1 農業振興と農地の荒廃対策

議員 中山間地域では、高齢化や過疎化が進行している中、跡継ぎがないという悪条件に見舞われている。市としての対応はどうか。

農林水産課長 中山間地域等直接支払事業及び農地・水・環境向上対策対策事業を推進し、耕作放棄地の解消や農業施設の管理を地域住民が共同で行うことなどによって、農

2 森林環境と生産性の向上

村環境の保全に努めたい。また、高齢化による離農のため、遊休農地が生じるような場合については、農業委員会等関係機関と連携して担い手への利用集積を進めていきたい。

議員 山あいでは、獣害による被害で作付けに大きな支障が出ている。今後、どのような対策を考えているのか、お尋ねしたい。

農林水産課長 イノシシ、鹿等による農産物の被害を防止するため、被害が顕著な地域では防護柵や電気柵等の設置費用に対し補助する制度を設けている。また、国の鳥獣被害防止の基準に基づき、被害防止計画を現在策定中だ。

議員 森林の持つ機能は私たちの暮らしに様々な恵みをもたらしている。森林環境づくりに向けて、どのように考えているか、お聞きしたい。

農林水産課長 山に降った雨水が農地を流れていくということを考えると、森林の整備は最も重要なことであり、荒廃森林事業等を効率的に推進していきたい。

議員 地産材の販売拡大に向けて、森林組合等と連携して

積極的にPRしてはいいかがか。
農林水産課長 福岡県と京築地区の各市町及び森林組合で構成する京築地区森林・林業推進協議会の地域材利用部会において県産材を使用した住宅見学バスツアーの開催や公共工事における間伐材等の利用促進、木工教室の開催など、県産材のPR及び販売拡大を行っている。



3 人口増対策

議員 後期基本計画の中に、「人が元氣、まちが輝く、豊前から未来への風が吹く」とうたわれている。平成24年度の目標人口が3万2500人となっているが、具体的な内容、今後の政策があれば、お聞きしたい。

市長 戸数は今までで一番多いが、人口は微減の状況だ。後期基本計画の目標人口達成に向けて、目標政策を推進するとともに、総務省の定住自

立圏構想を活用しながら、しっかりとやっていこうと思っている。

議員 人口増に向けて、市外からの転入者に対し、税の減免や家を新築した場合の助成、保育料の免除など、優遇措置を一定期間だけでも試してみたいかがか。

市長 非常に大変なことではあるが、固定資産税率を下げようと思っている。また、築上郡とレベルを合わせていかなければならない、よりよいものは残していく、このように考えている。

福井議員の質問

1 乳幼児医療費助成制度の拡充について

議員 乳幼児医療費助成制度の対象年齢は小学校入学前までに拡充したが、中学生までとか6年生までとかもつと拡充できないだろうか。

市民健康課長 小学校入学前までを中学生までに拡充するとなると、県の制度の対象外となり全額市の負担となる。昨年十月に制度を拡大した経緯もあり、今後の検討課題としたい。

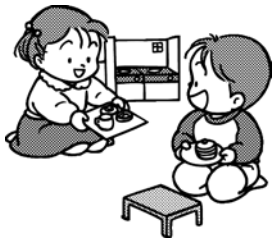
議員 対象年齢の拡充となれば、他市町村との差をつけるという事で人口増対策の1つとなるのではないか。

市民健康課長 中学生まで・小学3年生まで等というんな案があるが医療費負担増のことも考え検討していきたい。

2 子育て支援と保育所について

議員 公立保育園への入所希望が多いと聞か、なぜか。

福祉課長 子育て支援センター「たけのこ」の影響が大きいと思う。支援センターに通う保護者がちづか保育園に通いたいという気持ちはあると思う。また、ちづか保育園については、千束地区を優先して選考している。



議員 各保育園の行政評価をすることにより、保育園の質や内容の充実・向上につながると思うが、どう考えているか。
福祉課長 年1回、福岡県の立会いの下、監査指導がある。

県が評価して市にその報告がある。サービスマンや教育面等に対して把握するのは大事な事である。今後も十分に指導していきたい。

議員 近隣市町村で戸籍上、第3子以降は保育料無料というところがあるが豊前市も住民サービス向上・少子化対策のために他市町村並みの取り組みをしたらどうか。

福祉課長 豊前市では在園児3人いる場合は第3子目が無料ということになっている。

市長 この件については保護者からの要望も聞いている。近隣市町村と合わせる気持ちで検討していきたい。市では第2子出生は10万円、第3子出生は20万円支給しているが、これは他市町村はやっていない事業である。それも含めて人口増対策については検討していきたい。

議員 市はチャイルドシートの貸出制度を行っているが、現在の利用状況を教えてほしい。

総務課長 市では乳児15台・チャイルド20台・ジュニア17台の3種類のシートを保有しており、4ヶ月間を目処に貸出している。現在の貸出状況は、乳児7台・チャイルド20台・ジュニア7台である。また交通安全協会にも助成をし、安全協会に加入している方に

についてはそこでも貸出を行っている。

議員 チャイルドシートの貸出制度があることは市民の方は知らない人が多いのではないか。市報・ホームページ等に公報してもらいたい。又、家庭で不用になった分を市で安く買い取るとかリサイクルするとかの考えはないのか。

総務課長 リサイクルや市に寄贈してもらうことは考えてはみたが、使い方の問題や管理の問題等で躊躇した経緯がある。

磯永議員の質問

1 乳幼児医療費県外受診支払

議員 乳幼児医療費は、3歳まで県内は無料だが、中津で受診することも多く、その場合立替払いをしなければならぬ。県外で受診しても立替払いが要らないようなシステムの構築をしてはどうか。

市民健康課長 大分県、中津医師会、豊前築上医師会と協議をし、支払方法を福岡県と同様の取扱いができるよう、内諾をいただいている。

議員 今、共働き世帯が多く、

市役所に手続に来ることも大変な上、3か月以上もかかる。行政はスピードが大切だ。子育て支援のため早急に対応すべきではないか。

市民健康課長 豊前市、築上町、上毛町で協議をし、6月のはじめには実施したいと考えている。

2 赤熊南土地区画整理事業の現況と現在までの売買の経緯

議員 区画整理をした赤熊南地区に住宅が建てば、きれいな町並みになるのではと期待しているが、土地の分譲価格が非常に高いという話も聞く。どういう経緯で単価を決めたのか、また、売れ残りの件数及び面積をお尋ねしたい。

まちづくり課長 単価については、不動産鑑定士に鑑定評価を依頼し、それをもとに、赤熊南土地区画整理事業評価委員会で決定している。販売済みは、22区画、1万866・81㎡で、売れ残りは18区画、7588・7㎡となっている。

議員 契約の内容や支払方法は、どうなっているか。

まちづくり課長 売買契約をした段階で、10%の内金を納めていた。また、契約締結から60日以内に完納をお願いしている。

議員 登記簿謄本や権利書がなく、融資を断られたということも聞いたが、対応はしているのか。

3 嘱託及びアルバイトの採用要件

議員 嘱託及びアルバイト職員採用の基本的な考え方についてお聞きしたい。

総務課長 なによりも健康状態が良好ということが最も肝要と考えている。また、協調して仕事ができるかということも重要だと思っている。

議員 嘱託及びアルバイトは特殊な技能を要する職場以外では、市内の方を優先することがいいのではないかと思うが、いかがか。

市長 そのとおりだ。加えて、嘱託などを含めた人件費総額も筑豊7市では一番少ないと思うので、その点は守ってほしいと思う。

4 宇島駅のエレベーター設置と北側改札口の開設

議員 宇島駅にエレベーター設置と北側の改札口開設を望



J R 宇島駅

む利用者の声をよく耳にする。市長のやる気の度合いを聞かせてほしい。

市長 豊前市の表玄関である宇島駅は、駅周辺やトイレ等がきれいになったので、一番の課題はエレベーターを設置することと考えている。市民ぐるみで進めていきたい。

山本議員の質問

1 就労支援について

議員 100年に1度という深刻な不況が、豊前市にも大きな影響を及ぼしている。職を失った人や一時帰休している人たちに対する就労支援を

どのように考えているか。

市長 緊急経済生活支援対策本部を、2月12日に設置した。ハローワークを通じて就職のあっせん、市へのアルバイトの登録、住宅等の退去を余儀なくされた方々への住宅の提供を考えている。

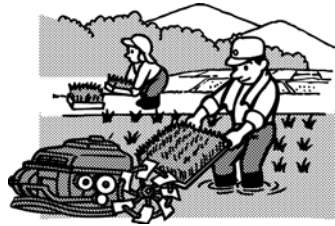
議員 先日、ニュースで、学校のテレビは東芝製を購入する予定だと放送されていた。市内には、色々なメーカーを取り扱う電気店があり、死活問題だと思ふ。商店街の方々にも配慮した対応が必要だと思ふが、いかがか。

総務課長 放送の中では、なりふり構わずというような放映をされていたが、法を犯してまでという考えではない。先行き不透明な厳しい現状に対し、市民や市内の事業者の生活を守る観点から、豊前市緊急経済生活支援対策本部を設置しており、全庁挙げて取り組みたい。

議員 臨時職員の雇用期間は2か月ということだが、2か月で交代ということであれば、ミスが発生するのではと思う。雇用期間の延長はできないか。

総務課長 臨時職員については、年金や健康保険との兼ね合いもあり、2か月の期間で雇用している。ただ、せつか

く仕事を覚えたのに、もうやめないといけないということでは、継続性・安定性という観点から、どうかと思うので、十分協議をしてみたい。



2 農業振興について

議員 国の農業施策は、めまぐるしく変化している。新年度に大きく変わる点は何か、お尋ねしたい。

農林水産課長 国は、現在新たな食料・農業・農村基本計画の見直しを進めており、農業の食料自給率を高めるため、米粉、飼料米等による生産調整の実施と麦、大豆、飼料作物の作付け拡大に対し、新たな支援措置が設けられた。

議員 米粉用米、飼料用米の作付けについては、実需者（実際にそれを必要とする製粉業者や養鶏業者など）のことをいう。）と販売契約を結ぶこと

となっている。市内には、実需者がいないというところだが、農家にとっては、最適の作物だと思う。新規需要米に対する作付面積拡大の支援についてどのように考えているか、お尋ねしたい。

農林水産課長 麦や大豆の作付けが困難な水田で、米粉・飼料用米の作付けを行うことは、水田の有効利用や耕作放棄地の解消に効果が期待される。ただ、現状では販売契約先である実需者の確保が困難だ。今後、関係機関、関係団体と連携し、支援を行っていきたい。

議員 養鶏場の鶏糞を利用して、飼料米を作ってはいかがか。
農林水産課長 飼料米の販売価格は、1kgあたり、40円前後と、大変安く、低コスト生産が求められる。今後、十分検討していきたい。

榎本議員の質問

1 周防灘湾岸線道路の早期実現と見直しについて

議員 この北部九州地区は自動車生産150万台構想を推進、大きく飛躍しようとしていたが、現在景気の後退によ

り、やや陰りが見えている。そこでこの地区を「特区」として申請し、再構築したらどうか、そのことにより中津から北九州に通じる湾岸道路を国の事業として実施出来るのではないのか。

市長 「特区」については検討に値すると思われる。湾岸道路については期成会を作り、早期実現を目指しているが、膨大な予算を必要とすること、現在東九州道の実現に全力で取り組んでいること、築城自衛隊沖の通過の件など問題もある。

議員 一番大事なのは、地域

の「やる気」・「熱意」である。今繁栄している地域も最初はゼロからスタートしている。地域間競争に負けないよう県等を巻き込んで積極的に進めべきだ。

この道路の整備に伴い、内陸面の工業団地の開発、高潮対策、宇島駅裏の整備なども図れるのではないのか。
財務課長 特区は地域の特性に応じた規制の特例措置を設け、地域経済の活性化を図ろうとするもので、提案については関係する自治体、県と協議したい。



2 人口を増加させるための定住促進対策について

議員 平成24年の目標人口が32500人に対し、現在は28000人を割ろうとしている。人口が減少する原因をどのように考えているのか。

市長 戸数は増えるが人口は減る厳しい状況にある。定住するには税の問題もあると思われるので、下げる方向で取り組みたい。

議員 人口増のためには住民サービスを向上しなければならぬ。乳幼児医療費の軽減、市営住宅の優先入居、住宅建設者の補助、また求菩提山の観光開発、無医村の解消など、各種の施策を展開し、「豊前市に住んでみたい、住んでいて良かった」という人を増やす事が大事だと考えるが。

総務課長 ご指摘のとおり、競争力のある豊前市をいかに創造していくかにかかっている。総力を挙げて取り組みたい。そのための財源の確保に暫く時間をいただきたい。

3 一般会計より公営企業会計等への補助金のあり方について

議員 一般会計当初予算は市長の改選のため暫定予算だが、特別会計は通年予算となっている。なぜか。

財務課長 特定の収入を持つて特定の経費に充てる会計の性格から、また事業については継続事業が主であるため通年予算とした。

議員 特定の地域にのみ実施される公共事業へ一般会計から補助金を出すことについてどのように考えているのか。

財務課長 公営企業は独立採算性が原則であるが、受益者負担の原則になじまない経費、普通交付税に算入される元利償還金、また赤字相当分を補助金として繰出している。今後は公平性、経営改善、徴収率の向上を図り収支の改善に努めたい。

議員 安易に補助金に頼ることなく、もっと企業努力すべきではないのか。また、利益を受ける地域と受けない地域との不均一課税も検討すべきではないのか、伺いたい。

市長 不均一課税は豊前市の歴史上したことはないが、合併等含めて今後発生することも予想される。すべてが均一であるべきとは考えていない。

次の定例市議会は 6月

議会へのご意見をお寄せ下さい

豊前市大字吉木955

TEL.82-1111 内線1311

<http://www.city.buzen.fukuoka.jp>

議会を
傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

会議録閲覧の
お知らせ

議会だよりの内容は、議会の様子を要約したものです。会議の詳細を知りたいかたは、総務課・議会事務局にある会議録をご覧ください。

また、豊前市のホームページにも「会議録」を掲載していますので、ご覧ください。

- ◆発行：豊前市議会
- ◆編集：編集委員会
- ◆印刷：上森印刷所

* 編集委員 *

委員長 山本 章一郎
副委員長 鎌田 晃二
委員 今本文徳
委員 榎本 義憲
委員 福井 昌文

市議会だよりは資源保護のため再生紙を使用しています。

委員会で視察研修を実施しました!!

文教厚生、総務、産業建設の各常任委員会は、それぞれの委員会が抱えるテーマ、課題等について行政視察を行いました。

文教厚生委員会

2月3・4日に、京都府京丹後市と兵庫県豊岡市に視察に行きました。

京丹後市では、議会基本条例・議会中継システムについて、研修しました。京丹後市は、平成16年に6町が合併して誕生した市ですが、議会の活性化を図るため、平成18年に議会改革特別委員会を設置し、平成19年12月に「議会基本条例」を制定したということでありました。

豊岡市では、絶滅の危機に瀕していたコウノトリの繁殖・保護、子育て支援、文化振興等について研修しました。また、豊岡市は平成16年の台風23号で市内を流れる円山川が決壊し、家屋の倒壊や浸水など甚大な被害があり、防災対策には特に力を入れているということでした。



総務委員会

2月12・13日に、総務省と千葉県松戸市に視察に行きました。

総務省では、地方制度調査会での地方議会に関する議論や定住自立圏構想について研修をしました。定住自立圏構想は、人口5万人程度以上の市が中心市となり、周辺の自治体と連携して定住のための生活基盤の整備を図り、魅力あふれる地域を形成することを目的とする事業ですが、現在、中津市が医療の分野で中心市として申請しており、豊前市をはじめ周辺の自治体と連携をした魅力ある地域づくりに期待がかかります。

松戸市では、議会基本条例について研修をしました。議員の有志で議会改革に取り組み、その一環として議会基本条例を制定したということでした。



産業建設委員会

2月17・18日に、農林水産省と防衛省で研修をしました。

農林水産省では、食料自給率の向上を図るため、水田等を有効活用し、需要に見合う生産の拡大を図る施策や耕作放棄地の解消にむけた種々の取組みについて研修をしました。また、林業や漁業の担い手の確保・育成に向けた取組み等について意見交換をしました。

埼玉県朝霞駐屯地に隣接する陸上自衛隊広報センターは、自衛隊の意義や役割等について正しく理解し、自衛隊をより身近に感じてもらうために、手続きなしで自由に入館できる施設です。自衛隊は日本の平和と独立を守るとともに、台風や地震などの災害時に人命救助・復興支援を行うなど、地域貢献・社会貢献も積極的に行っています。



編集後記

アメリカ発の不況の波に日本経済も飲み込まれ、我がまち豊前市にも大きな波が迫ってきています。

一刻も早い経済の回復を期待するとともに、このような状況の中で組み込まれた3月議会での本市21年度予算について、しっかりとチェックを行いました。また、人口増対策や安全に暮らせる豊前市を目指すため、子育て支援や広域医療体制、学校教育の充実や保育所の入所等についても多くの質問と答弁が繰り返されました。

「子供叱るな来た道や、年寄り笑うな行く道や」という言葉がありますが、私たち議会人も将来に向けて、もっとお年寄りや子供たちに優しい豊前市を目指して頑張っていかなばと、満開の桜の下で更なる決意を致した次第です。

福井 昌文